

医療法人社団曙会シムラ病院 広報誌

あけぼの

015

2026.6

TOPICS

P5 教えて四宮先生

～手外科って?～

P7 関節センター開設のお知らせ

P9 脊椎専門外来のご紹介



新年度のご挨拶

Greetings for the New Fiscal Year

高齢者救急を支える新病棟への転換と
高度な専門医療の充実で、地域の皆様に寄り添います。

医療法人社団 曙会 シムラ病院 理事長

池尻 佑美

日頃よりシムラ病院の運営に格別のご高配、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。
当院は「断らない救急」の実践と「全人的医療」を理念に、24時間365日の救急医療体制を維持しております。皆様の多大なるご支援により、2年連続で救急車の受け入れ台数が2000件を超えましたこと、心より感謝申し上げます。
本年度は「緩和ケア病棟」から「地域包括医療病棟」への転換という大きな一歩を踏み出します。これにより合併症を抱える高齢救急患者さんの受け入れ体制をさらに強化いたします。急性期治療を経た患者さんが、多職種チームによる手厚いリハビリを通して、住み慣れた地域やご自宅へ安心して帰れるよう支援する重要な役割を担います。
なお、病棟の機能は変わりますが、緩和ケアを必要とされる患者さんの受け入れはこれまで通り継続いたします。これからも病院全体で「緩和ケアのマインド」を持ち続け、患者さんの苦痛に包括的に寄り添う医療を実践してまいります。



救急現場にも新たに「病院救命士」を迎え、よりスムーズで迅速な受け入れ体制を整えてまいります。また、最新のMRI運用や医療DXの推進により、診断精度の向上と業務の効率化を図っております。
専門領域では、広島大学外傷講座との連携による外傷医療や高度な脊椎外科診療に加え、本年度より高度外傷や手外科のスペシャリストである四宮陸雄先生を特任院長にお迎えいたしました。さらに特任診療部長として膝専門の奥原淳史先生をお迎えすることができ、「関節センター」を立ち上げました。当院の診療体制は飛躍的に強化され、専門性の高い高度な医療をより多くの患者さんにお届けできる体制が整いました。
今年度も「明るく、楽しく、忙しく」の精神で、職員一丸となって地域に信頼されるシムラ病院となれるよう努力してまいります。これからも温かいご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
最後に、当院の新たな取り組みをご紹介します本誌「あけぼの」をぜひご覧いただければ幸いです。

広島市の二次救急を担い、
地域に貢献し続ける信頼の医療機関を目指して全力で取り組みます。

医療法人社団 曙会 シムラ病院 院長

高野 弘嗣

2026年度も多くの新入職員を迎え、新年度がスタートいたしました。特に診療部は新たに整形外科医5名、麻酔科医1名、外科医1名、内科医1名の新任医師が加わりました。
昨年度は手術室増室(計3室)、救急外来の整備と多くの救急患者に対する体制の強化を行いました。本年度は、整形外科医として、広島大学外傷グループから四宮陸雄先生、膝関節専門の奥原淳史先生を新たに増員で迎えることができ、さらなる専門性の充実が図れる様になりました。
「救急患者は可能な限り受け入れる」という目標を実践し、昨年度救急車受入台数は2,003件と2年連続で2,000件を超え、手術件数も1,804件とこれまでにない件数を達成いたしま



した。これからも、広島市の二次救急を支える病院として「救急医療を通して社会に貢献する」との理念を実践していきたいと思います。
また、もう一つの理念である「最後まで全人的医療を貫く」ため、在宅復帰を支援する回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟、人生の最終段階における医療を提供する緩和ケア病棟のより一層の充実を図っていく所存です。
今後も、シムラ病院が地域に貢献し、患者さんにとって信頼できる医療機関であることを目指し、私たち一同、全力で取り組んでまいります。
本年度もご協力賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

地域の皆様に信頼される医療を目指して
- 手外科から外傷まで -

医療法人社団 曙会 シムラ病院 特任院長

四宮 陸雄

このたび、2026年4月1日付でシムラ病院に赴任し、特任院長を拝命いたしました。2001年に島根医科大学を卒業後、広島大学大学院にて軟骨再生研究に従事し、米国ピッツバーグでの留学を経て、基礎と臨床の双方から研鑽を積んでまいりました。帰国後は広島および松山の関連病院にて臨床経験を積み、2010年より広島大学整形外科手外科班の一員として、手外科およびマイクロサージャリー領域の診療・手術に携わってまいりました。
その後、これまで培った技術を外傷診療に活かすべく、2020年に広島大学整形外科を立ち上げ、高度救命救急センターにおいて主に三次救急の整形外科診療に従事してきました。脊椎・骨盤外傷といった生命にかかわる重篤な外傷から、マイクロサージャリーを要する重度四肢外傷まで、幅広い病態に対応してまいりました。



今後は、これまでの手外科および外傷外科の専門性を基盤とし、シムラ病院において手外科領域にとどまらず、軽症から高度医療を要する外傷まで一貫して対応できる診療体制の構築を目指していきたくと考えております。広島大学整形外科および高度救命救急センターとの連携を密にし、地域に根ざしながらも高度医療を提供できる体制を整備してまいります。地域の皆様に信頼される医療の実現に尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

診療科：整形外科
資格等：日本整形外科学会整形外科専門医、日本手外科学会専門医/指導医、日本手外科学会評議員、日本マイクロサージャリー学会評議員

膝疾患でお困りの地域の患者さんの
お役に立てる医療をお届けします。

医療法人社団 曙会 シムラ病院 特任診療部長 関節センター長

奥原 淳史

日頃より地域の皆さま、関係者の皆さまにはご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび令和8年4月よりご縁をいただき、当院整形外科に赴任いたしました奥原淳史(おくはらあつし)と申します。

これまで整形外科の一般診療に加え、膝関節の病気やけがの診療に携わってまいりました。変形性膝関節症、半月板損傷、靱帯損傷などの治療を行い、特に変形性膝関節症に対しては、患者さん一人ひとりの状態に合わせて人工膝関節置換術や膝周囲骨切り術などの手術にも取り組んでおります。安全で確実な手術と、術後の回復を大切にしたい医療を心がけております。
膝の痛みは歩行や日常生活に大きく影響します。私は、痛みをやわらげるだけでなく、「自分の足で歩く喜び」を取り戻して



いただくことを目標に診療してまいります。また、薬物療法やリハビリテーションから手術まで一貫した治療を行い、安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。

地域の皆さまにとって気軽に相談できる存在を目指してまいります。膝の痛みや違和感がありましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

診療科：整形外科
資格等：日本整形外科学会整形外科専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本人工関節学会認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター

新任医師のご紹介



シムラ病院

Introduction of New Doctor



かわなみ のりゆき
河浪 徳志 診療科 整形外科

地域に寄り添い、安心できる丁寧で誠実な診療に努めてまいります。

この度、令和8年4月よりシムラ病院整形外科に着任いたしました河浪徳志と申します。令和3年に医師免許を取得後、初期研修を修了し、福岡県内の医療機関にて整形外科診療に従事し、日々研鑽を積んでまいりました。広島での勤務は初めてであり、当初は戸惑いや不安もございましたが、着任後しばらく経ち、徐々に生活や職場環境にも慣れてまいりました。日々の診療や地域での生活を通じて、広島の皆様の温かさや思いやりに触れ、支えられていることを実感しております。整形外科医として、運動器の痛みや機能障害に対して適切な診断と治療を行うことはもちろん、患者さん一人ひとりの生活背景や価値観にも配慮し、安心して治療を受けていただけるよう心がけてまいります。今後も地域に根ざした医療を大切にし、信頼される医師となれるよう努めてまいりますので、お困りの際にはどうぞ遠慮なくご相談ください。何卒よろしくお願い申し上げます。



まつもと ゆうたろう
松本 悠太郎 診療科 整形外科

広島の皆様に信頼される医療を提供できるよう誠心誠意、患者さんお一人おひとりを丁寧に診察します。

この度、令和8年4月よりシムラ病院整形外科に着任しました松本悠太郎と申します。令和4年に大分大学医学部を卒業後、小倉記念病院での2年間の初期臨床研修を経て福岡大学整形外科教室に入局しました。入局後は福岡大学病院や福岡山王病院に勤務して研鑽積んでまいりました。広島に住むのは初めてで、手術経験も少ないですが、患者さんお一人おひとりの目線に立って、寄り添い、最善の治療を行えるよう親切丁寧にわかりやすい説明を提供できるよう心がけていきます。この度ご縁を賜り広島の救急、整形疾患を中心とした地域医療に微力ながら携われることを嬉しく思います。まだまだ不慣れで未熟な点も多く、ご迷惑をおかけいたしますが、精一杯精進いたしますのでご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



やの しょうだい
矢野 翔大 診療科 整形外科

安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

この度、令和8年4月よりシムラ病院整形外科に着任いたしました。矢野翔大（やの しょうだい）と申します。令和5年に佐賀大学医学部医学科を卒業後、佐賀大学医学部付属病院ならびに聖マリア病院での初期研修を経て、福岡大学病院整形外科に入局いたしました。はじめての九州外での勤務であり、不安な面もございましたが、日々住みやすい場所だと実感しております。整形外科は小さなお子様からお年を召された方まで、また骨折などの急性期の疾患から慢性的な身体の痛みなど多種多様な疾患に携わる診療科でございます。様々な患者さんのニーズに寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。まだまだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願い致します。



かたおか ひろこ
片岡 宏子 診療科 麻酔科

外科の先生方にも、患者さんにも安心して手術に臨めるように、安心安全の麻酔をモットーに日々努めてまいります。

令和8年4月よりシムラ病院麻酔科に着任いたしました、片岡宏子と申します。平成21年に広島大学を卒業後、呉医療センター、東広島医療センター、広島総合病院、広島大学病院などに勤務してまいりました。勤務してまだ数日ですが、シムラ病院のスタッフの皆様は明るく元気で優しく働きやすい環境だと感じております。私はこれまでに手術麻酔・緩和医療・ペインクリニックの診療に従事してまいりました。手術麻酔だけでなく、ペインクリニックや緩和医療に従事したことで、疼痛管理はもちろん、患者さんの痛み以外の苦痛を伴う身体症状、精神症状、不眠・不穏、個々の患者様の背景を考慮して対応していく大切さを学ぶことが出来ましたし、大学の緩和医療チームで働いたことでチーム医療を行う上でのコミュニケーション能力も高まったと自負しております。これまでの知識、経験を活かしつつ、シムラ病院の一員として皆様と共に働くことを楽しみにしています。一日も早く業務に慣れ、チームの即戦力として貢献したいと考えております。困ったときは質問させていただくこともあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



なご あきのり
長尾 暁憲 診療科 内科、消化器内科

消化器内科医として、皆様の内科疾患に関して、全力で取り組みます。

この度、令和8年4月よりシムラ病院内科に着任いたしました、長尾暁憲と申します。令和2年に広島大学を卒業後、安佐市民病院、広島大学病院、三次地区医療センターなどで勤務し、主に消化器内科領域を中心に、内視鏡検査・治療をはじめとする診療に携わりながら研鑽を積んでまいりました。急性期医療から地域医療まで幅広い現場を経験する中で、患者さんお一人おひとりに寄り添い、わかりやすく丁寧な診療を行うことの大切さを学んでまいりました。これまでの経験を生かし、シムラ病院におきましても、内視鏡診療などの消化器内科分野に加え、糖尿病や高血圧をはじめとする内科一般の診療にも真摯に取り組んでまいります。まだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、患者さん やご家族の皆様少しでも安心して治療を受けていただけるよう、一つ一つの診療に丁寧に向き合い、地域の皆様のお力になれるよう誠心誠意努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



おの みちえ
小野 倫枝 診療科 外科、呼吸器外科

急性期から慢性期まで、患者さんに寄り添う医療を提供します。

この度令和8年4月より、シムラ病院外科に着任いたしました、小野倫枝と申します。令和3年に山口大学医学部を卒業後、JA広島総合病院、呉医療センター、広島大学病院にて、胸部外科、中でも肺癌をはじめとする呼吸器疾患に対し、低侵襲手術を含めた外科治療に携わり、外科医として研鑽を積んでまいりました。これまでの勤務地や診療環境で培った経験を活かし、シムラ病院でも、急性期～慢性期まで患者さん一人ひとりに寄り添った最善の医療を提供いたします。また、日々進歩する医療に対応すべく、最新の知見や技術の習得にも積極的に取り組み、より安全で質の高い診療を実践できるよう心掛けたいと思っております。私自身、生まれ育った地元でもあるこの地で勤務できることを大変嬉しく思っており、地域医療に貢献できるよう尽力してまいります。至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。



教えて! 四宮先生

手の外科ってどんな症状を診察するの?

特任院長 四宮 陸雄

高知県高知市生まれ
小学校から中学まで大分県別府市で育つ。幼稚園から剣道づけ生活、スポーツ医学をやりたくて医師を志す。
運動歴:剣道 第2回全国高等学校剣道選抜大会出場(1993年)、中四国医科学生剣道大会個人戦優勝(2000年)

2001年 島根医科大学卒業、晴れて整形外科医となる
2002年 広島大学大学院で軟骨の再生に関する研究
2004年 米国ピッツバーグ大学留学
2010年 手外科/マイクロサージャリーに興味を持ち、広島大学病院で研鑽をつむ
2020年 手外科/マイクロサージャリーで培った知識技術を外傷診療に生かすべく、広島大学四肢外傷再建学を立ち上げ
2026年 シムラ病院赴任

手外科とは? — “動かす・感じる・きれい” を取り戻す医療 —

■ 手外科とは

手外科は、手や肘の痛み・しびれ・変形・けがを専門に診る分野です。日常生活で最もよく使う「手」の機能を守り、取り戻すことを目的としています。

また手は「顔の次に人に見られる部位」とも言われており、機能だけでなく見た目の美しさも大切です。そのため手外科では、整形外科的な治療に加えて、形成外科的な視点も取り入れながら、「動かす」「感じる」「きれい」といった繊細な機能の回復を目指します。

整形外科専門医約23,000人のうち、手外科専門医は約1,200人と限られており、高い専門性が求められる分野です。

■ シムラ病院で可能な手外科治療とは

ヘバーデン結節、ばね指、手根管症候群といった女性に多い身近な病気から、骨折や腱(すじ)・神経・血管の損傷、皮膚欠損、加齢やリウマチによる変形、スポーツ障害まで幅広く対応しています。また、関節鏡を用いた低侵襲手術も行っております。

当院の大きな特徴は、マイクロサージャリー(顕微鏡を用いて細い血管や神経を縫合する技術)を用いた高度な治療が提供可能な点です。これにより、複雑なけがや病気に対しても、患者さん一人ひとりに適した治療法を選択することができます。

私はこれまで広島大学整形外科の手外科・マイクロサージャリー班で診療を行い、その後、四肢外傷再建学講座を立ち上げ、重度外傷の治療にも取り組んできました。こうした経験を活かし、シムラ病院では幅広い視点から患者さんに最適な治療を提供しています。

代表的疾患について

① 女性に多い手の疾患(ばね指・手根管症候群・ヘバーデン結節)

ばね指や手根管症候群、ヘバーデン結節は、中高年の女性に多くみられる代表的な手の病気です。指の動きが引っかかる、手のしびれが続く、指先の関節が変形して痛むといった症状が特徴です。

ホルモンバランスの変化や加齢が関係していると考えられていますが、はっきりとした原因はまだ解明されていません。初期の段階では、安静や装具、注射などで改善すること多いですが、進行すると手術が必要になる場合もあります。

当院では「女性特有の手の疾患」として捉え、必要に応じて他科とも連携しながら、日常生活の質を取り戻す治療を行っています。



② 手外科領域の外傷

手や指のけがは、日常生活や仕事での事故などで多く発生します。単なる切り傷や骨折だけでなく、腱や神経、血管が傷つくと、「動かない」「感覚がない」といった後遺症につながる可能性があります。こうした損傷は正確な診断と早期の治療が非常に重要で、適切な対応により回復の可能性が大きく変わります。

当院では骨折治療の一つとして「創外固定治療」も行っており、体の外から固定することで、関節を動かしながら治療できる場合があります。小児の骨折から複雑な関節内骨折まで幅広く対応しており、多くの治療実績があります。



動かしながら治せる
創外固定治療

③ 関節鏡を用いた低侵襲手術

肘関節や手関節など関節鏡を用いた低侵襲手術も可能です。我々は世界に先駆けて、手指関節拘縮(固まって動かない状態)に対する関節鏡下授動術(関節鏡を用いて動くようにする手術)の手術治療成績を報告しています。関節拘縮は現在でも非常に治療が難しい病態ですが、関節鏡や創外固定を用いて治療を行っています。

関節鏡視下授動術
(3mmの傷が2か所)



④ マイクロサージャリーによる四肢の機能再建

マイクロサージャリーは、顕微鏡を使って非常に細い血管や神経をつなぐ高度な手術技術です。この技術により、皮膚や骨が失われた場合でも治療が可能になります。例えば、体の別の部位から組織を移植し、血流を再開させることで、失われた機能を取り戻すことができます。手外科で培った知識と技術を応用することで、単に傷を治すだけでなく、「使える手・足」を再び取り戻すことを目指した治療が可能です。

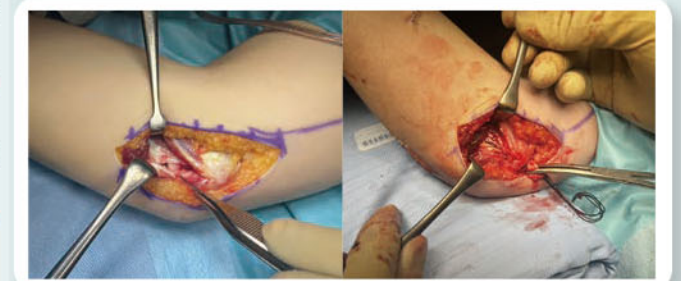


失った親指を
足趾を用いて再建

⑤ スポーツ関連疾患の治療

広島はプロスポーツが盛んな地域であり、これまで多くのプロ・アマチュア選手の治療に携わってきました。スポーツ活動に伴う手指・手関節・肘関節の骨折や靱帯損傷、軟骨損傷などに対応しています。私も元アスリートであり、アスリートの気持ちに寄り添った診療を心がけています。

腱移植を用いた
肘内側側副靱帯再建



■ まとめ・受診のご案内

手や指の不調は、「そのうち治るだろう」と様子を見てしまいがちですが、早期に適切な治療を行うことで、機能の回復や後遺症の予防につながります。痛みやしびれ、動かしにくさ、けがなど、気になる症状がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

シムラ病院では、専門的な知識と技術をもとに、患者さん一人ひとりに適した治療を提供し、「動かす・感じる・きれい」を取り戻すお手伝いをいたします。

診療日

診療時間	月	水
午前 9:00~12:30	● 四宮	—
午後 14:00~18:00		● 四宮



地域の皆さまのための専門センター誕生

このたび当院では、膝・股関節・肩・手・肘など、関節に関わる幅広い疾患に対応するため、「関節センター」を新たに開設いたしました。

高齢化やスポーツ人口の増加に伴い、関節疾患は年々増加しています。こうしたニーズに応えるべく、専門医による診療体制と最新設備を整え、より質の高い医療を提供できる環境を整備しました。

関節センター特集

関節の痛みに寄り添う新拠点

～ 関節センター開設のお知らせ ～



より安全で確実な治療へ

当院関節センターの特徴

当院では上肢・下肢それぞれに専門の医師が在籍しており、レントゲンやMRIなどの画像所見と診察結果をもとに、患者さんひとりひとりに適した治療法をご提案します。

どんな治療を行っていますか？

高度な変形性膝関節症や変形性股関節症に対しては、人工膝関節置換術や人工股関節置換術を行っています。これらは、関節の軟骨の傷んだ部分を取り除き、金属とポリエチレンでできた人工関節に置き換える手術です。膝関節では、状態に応じて関節全体を置換する「全置換術」と、一部のみを置換するや傷んだ部分が限局的な場合は「部分置換術」を選択します。

また、初期の段階では、リハビリテーション、薬物療法、関節注射、装具療法などの保存療法を中心に治療を行います。これらで十分な改善が得られない場合には、関節鏡下手術や膝周囲骨切り術を行います。関節鏡下手術は小さなカメラ（関節鏡）を用いて関節内を観察し、軟骨や半月板の処置を行う比較的侵襲の少ない手術です。膝周囲骨切り術は膝周囲の骨の形状を調整し、負担のかかる部位を分散させることで症状の改善を図る手術です。ひとりひとりの患者さんにこれらの治療のなかから、適した治療法を提案させていただきます。

人工膝関節置換術



全置換術



部分置換術

膝周囲骨切り術



開大式

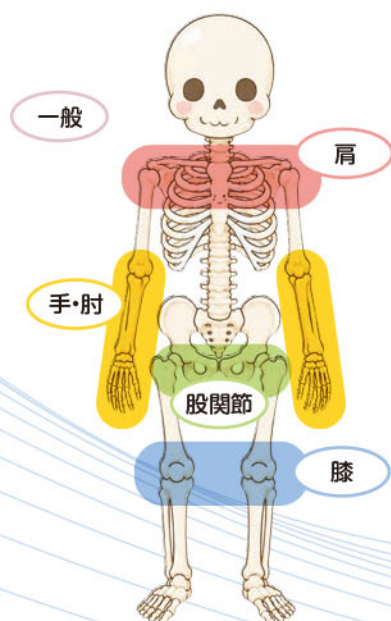


閉鎖式

高まる関節医療ニーズに応えるため、専門診療体制を強化しました。関節疾患の痛みの改善を目指し、早期社会復帰をサポートします。



専門医のご紹介



専門分野 肩

副院長 池尻 好聰

診察日 午前：火・水
午後：月

メッセージ

肩痛の原因を的確に診断し治療します。肩関節鏡の手術も行います。しっかりと診療致します。



専門分野 股関節

診療部長 澤 幹也

診察日 午前：火
午後：木・金

メッセージ

患者さんが理解しやすい説明を心掛けています。ぜひご紹介お待ちしております。



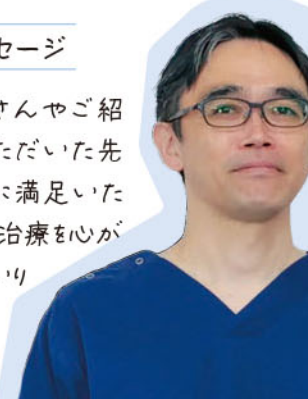
専門分野 膝

特任診療部長 関節センター長 奥原 淳史

診察日 午前：木・金
午後：火

メッセージ

患者さんやご紹介いただいた先生方に満足いただける治療を心がけてまいります。



専門分野 手・肘

特任院長 四宮 陸雄

診察日 午前：月
午後：水

メッセージ

リウマチ/高齢者外傷後の人工肘関節、手指人工関節も患者さんのニーズに沿って行っています。



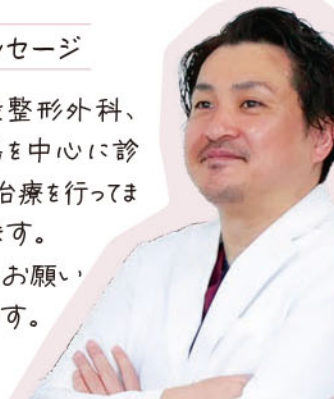
専門分野 一般

整形外科部長 副島 竜平

診察日 午前：月・金
午後：水

メッセージ

一般整形外科、外傷を中心に診療、治療を行っています。よくお願い致します。



最先端をゆくシムラ病院の 脊椎疾患の診療体制

当院では脊椎変性疾患・脊椎外傷など幅広く脊椎治療を行っています。
脊椎変性疾患は加齢に伴って起こるもので、腰椎椎間板ヘルニア、すべり症、脊柱管狭窄症、成人脊柱変形、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、靱帯骨化症、骨粗鬆症性椎体骨折などが代表的です。さらに、脊椎外傷や感染症、スポーツによる分離症・疲労骨折にも対応しています。
近年、脊椎脊髄外科の分野では、新しい低侵襲手術、医療機器の開発が進み、より安全で身体への負担が少ない治療が可能になってきています。当院でも、新規医療機器や先進的な術式の導入に積極的に取り組んでいます。一方で、新しい技術はあくまで治療選択肢の一つであり、最も大切なのは本質に根ざした正確な診断と、患者さんにとって最も有効な治療を適切に選択することだと考えています。

当院の特徴

脊椎検査として必須のCT・MRI検査を比較的速やかに行うことができ、診察所見と画像検査を照らし合わせながら、合理的で質の高い脊椎診療を提供できる点です。また、急性期病棟から回復期病棟までを備えており、手術前後の管理からリハビリテーション、社会復帰に向けた支援まで、一貫した医療を行うことができます。
手術室、病棟、リハビリスタッフをはじめとする多職種チームが連携し、患者さんが安心して治療に臨める体制づくりに努めています。

痛みとしびれに、専門医という選択を。

脊椎外来では、患者さんの「痛みを和らげたい」「日常生活を取り戻したい」という思いに寄り添いながら、丁寧な診療を心掛けています。まずは症状や生活上のお困りごとを十分に伺い、診察所見や画像検査の結果をもとに、痛みやしびれの原因をできるだけわかりやすく説明します。そのうえで、保存療法、リハビリテーション、薬物療法、ブロック治療、手術治療など、患者さん一人ひとりに適した治療方針を検討します。
脊椎疾患の中には、治療介入のタイミングが予後に大きく関わるものもあります。適切な時期を逃すと、回復に時間を要したり、十分な改善が得られにくくなる場合もあるため、痛みやしびれ、歩行障害、筋力低下などでお困りの方は、最適な治療機会を逃さないためにも早めにご相談ください。
シムラ病院は質の高いハードとモチベーションの高いスタッフが充実しています。
この恵まれた医療環境の中で、専門である脊椎脊髄疾患の診療に真摯に向き合い、地域の皆さまに信頼していただける医療を提供できるよう尽力してまいります。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

脊柱変形手術



当院は脊椎脊髄外科専門医 3名在籍しています



脊椎外来 診療日

診療日	月	火	水	木	金	土
午前	清水	—	—	藤林 村田	—	藤林
午後	—	村田	清水	村田	—	—

シムラ病院の 救急医療体制への 取り組み

副院長
いけじり よしあき
池尻 好聰

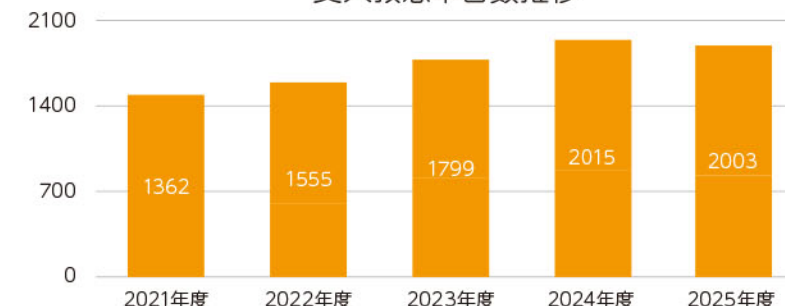
整形外科専門医、
家庭医療専門医、内科認定医
広島大学医学部臨床教授(総合診療)
中国電力レッドレブリオンズ(ラグビー)
チームドクター
整形外科一般、整形外科、
肩外来・スポーツ外来を担当



① 救急車2000台

シムラ病院は病院をあげて救急医療に取り組んでいます。救急車受け入れ台数は年々増加し、一昨年度、初めて2000台を超えました。そして昨年度も全職員の尽力により2000台を達成しました。シムラ病院は引き続き救急医療に邁進します。

受入救急車台数推移



救急連携会議



② 救急連携会議

例年に引き続きシムラ病院で救急連携会議を開催しました。総勢30人を超える救急隊と消防局の方々にご来訪いただきました。連携会議ではシムラ病院から田口麻酔科部長が「病院前救護から手術まで」と題して講演し、次に救急隊から「外傷現場での観察と処置について」JPTECに基づいた現場活動を迫力あるデモンストレーションで実演していただきました。最後に意見交換会を行い盛況のうちに会を終了しました。毎年継続して開催します。



③ 病院救命士

2026年度から3人の病院救命士が仲間に加わりました。2021年の法改正で救急救命士の活躍の場所が、現場や搬送中心から病院到着や入院まで拡大されました。私たちはワーキンググループを発足し、病院救命士の在り方を継続して検討し、その体制を整えます。私たちの病院救命士は、救急救命士としての専門性を発揮しつつ、多職種をつなぐ“のりしろ”となる重要な役割を担います。

3人の病院救命士が 仲間入り!



MRI装置を更新しました！

当院では、最新型フルデジタルMRI装置導入により、従来より短時間で高度で精密な検査が可能となります。ヘリウムフリーの最新MRIを導入しました。最新の高速化技術を搭載し、最大50%の撮像時間短縮が可能になります。MRI検査の短時間化により、患者さんの負担を軽減し、快適な検査環境をご提供します。

快適な検査環境



検査中の快適性を追求した厚さ60mmの
コンフォートプラスマットレス



70cmのワイドボアで
開放感のある検査環境



リクライニング機能で
楽な体制での検査が可能

患者支援センターのご紹介

患者支援センター

令和8年4月より着任いたしました中村マリ子と申します。広島大学病院で15年間看護師長として看護管理を担ってきました。

シムラ病院の理念に基づき、病院・看護部の目標達成に向けて取り組んで参ります。また、患者支援センター長および外来看護師長を兼務しており、入院前から退院後まで患者さんやご家族の方が安心して治療を受け、住み慣れたお住まいへ帰れるよう院内・院外の多職種、他機関と連携してご支援させていただきます。そして、「シムラ病院に来て良かった」と思ってもらえるよう努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

患者支援センターって？

患者支援センターでは、入院前から地域の医療機関・施設と連携し、安心して治療や入院生活が送れますよう入院・退院のご支援を致します。また、入退院に伴い生じてくる社会生活上の問題に関するご相談にも対応を致します。

ご相談内容

ご紹介患者の入院受付、総合相談（医療相談・社会福祉相談）、治療方針・病状説明、医療費・経済的なことに関する相談、社会福祉制度・サービスに関する相談、在宅医療・転院等に関する相談、緩和ケアに関する相談などお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ
患者支援センター
相談日：月曜日～土曜日（日祝・年末年始は除く）
時間：平日/8:30～17:00 土曜日/8:30～12:00
場所：1階外来受付 2～4階各スタッフステーション
TEL:082-231-6720 FAX:082-292-8680

この度、制服をリニューアル致しました。メンバーも増え、より一層地域の皆様との良好な関係性を維持し連携の強化に尽力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

制服リニューアル！



看護部のご紹介

地域に根差し、心に寄り添う看護を目指して



看護部長 山崎 真由美

患者様にもスタッフにも「ここでよかった」と思われる組織へ

この度、看護部長に就任いたしました山崎です。当院は整形外科を中心とした第二次救急指定病院として、地域の救急医療を支える重要な役割を担っています。これまでの歩みを大切に継承しつつ、変化の激しい医療環境の中で、シムラ病院がより一層地域から必要とされる病院であり続けるよう精進していく所存です。私が目指すのは、患者さんはもちろん、共に働くスタッフも「シムラ病院でよかった」と心から思える温かい組織です。患者さん一人ひとりの不安や想いに耳を傾け、急性期から在宅までを地続きに捉えた、切れ目のない（シームレスな）看護を追求してまいります。

2026年度の新体制：変化を成長のチャンスに

本年度、看護部は新たな体制へと移行いたしました。この変化を組織の成長への好機と捉え、多職種との絆を大切にしながら、質の高い看護サービスを追求します。スタッフ一人ひとりが専門職としての誇りを持って輝き、笑顔で働ける「活気ある職場」を実現することで、地域の皆さまへ最善の看護を届けてまいります。

今年度のスローガン

つなぐ・きづく・高めあう

～変化をチカラに、次代を創る看護の実践～

今年度は「安全で質の高い看護の実践」「人材育成」「心理的安全性の確立」「病院経営への主体的な参画」の4つの柱を中心に、3つのキーワードを軸とした活動を展開します。

つなぐ

専門性のバトンで、地域と未来をむすぶ

私たちの専門性を多職種や地域の皆さまと結びつけ、質の高いケア体制を築きます。病院でのケアを退院後の暮らしへとつなぎ、患者さんが自分らしく健やかに過ごせるという「確かな成果」へと結びつけたいと考えます。

きづく

わずかなサインを見逃さず、確かな安心を届ける

私たちは、皆さまに最も近い存在として、日々の何気ない表情やしぐさに隠れた「小さな変化」を敏感に捉えます。専門職としての確かな目で課題に早期に気づき、先を見据えた細やかな配慮を行うことで、毎日の生活に揺るがない安心をお届けします。

高めあう

共に育ち、最善のケアを創る

職種の垣根を越えて認め合い、学び合うことで、チームの力を最大化します。変化を恐れず、常に新しい時代の「より良い看護」を形にしていきます。

看護部総会を開催



3月、当院にて「看護部総会」を開催いたしました。今年度の看護部方針を共有するとともに、看護師一人ひとりの成長を支え、より質の高い看護を地域に提供し続けるための新しい教育体制について発表を行いました。

ようこそ!シムラ病院へ!

2026年度 新入職員のご紹介

看護師



なかむら まりこ
中村 マリ子

人生100年時代、シムラ病院のご機嫌大切に
通院/来所/退院/在宅/介護/支援/を
通してまいります。

看護師



おきもと しおり
沖本 菜璃

一人一人に合わせた、この人で良かった
と思ってもらえる看護士を目指します。

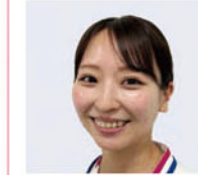
看護師



こもと かりん
古本 果凛

患者さんに寄り添える看護士を目指
して頑張ります。

看護師



うえき りおな
植木 里緒菜

一人前になれるよう、優しい先輩
方から教わりながら頑張ります。

看護師



たけもと ゆか
竹本 侑加

寄り添った看護ができるように頑張
ります。

薬剤師



きょうづか みな
京塚 海奈

患者さん1人1人に寄り添った薬
剤師になれるよう頑張ります。

病院救命士



なかむら かいと
中村 海斗

初の病院救命士として仲間と力を
合わせて頑張りたいと思います。

病院救命士



もり たいと
森 大途

病院救命士として多職種と協力し
ます。

病院救命士



こやなぎ もえと
小柳 萌人

病院救命士として患者さん一人ひとりに
寄り添いながら頑張りたいと思います。

診療放射線技師



さかもと こうた
坂本 航汰

これからシムラ病院の一員として全力で
頑張りますので、よろしくお願いいたします。

診療放射線技師



しもだ りょう
下土井 稜

毎日コツコツ学び信頼される技師
を目指します。

理学療法士



とむら かずき
外村 一樹

患者さんに信頼されるPTになる
よう日々精進します。

理学療法士



おの いぶき
小野 維吹

患者さんの気持ちに寄り添い、共にリハ
ビリができるよう一生懸命頑張ります。

理学療法士



おおいし たかつぐ
大石 崇嗣

常に患者さんに寄り添えるPTに
なりたいです。

理学療法士



ないとう しんじ
内藤 伸悟

いち早く、患者さんのリハビリを行
えるよう一生懸命頑張ります。

理学療法士



わたなべ りい
渡邊 莉唯

患者さんと笑顔に向き合い、信頼
してもらえるよう、日々頑張ります。

作業療法士



すずまさ れいこ
鈴政 麗子

患者さんがシムラ病院でリハビリを
し、生活の質を向上させることを
目指しています。

社会福祉士



かねこ さな
金子 紗奈

信頼されるMSWになれるように精
一頑張ります。

社会福祉士



たて ちえ
伊達 知絵

コツコツがんばります。よろしくお願
いします。

看護補助者



いずいし かほ
出石 かれん

患者さんの力になれるよう、地域医療を
支えるために全力で頑張ります。

今年もシムラ病院に、新しい風を吹き込んでくれる 頼もしい仲間が加わりました。

これから先輩方と共に学び、成長を重ね、より良い組織
づくりに貢献できるよう、全力で取り組んでまいります。
笑顔大切に、皆さまに心から寄り添った医療をお届け
できるよう、これからも誠実に努めてまいります。
皆さまには、温かくご指導・ご支援いただけますと幸いです。
どうぞよろしくお願いいたします。



シムラグループ特定施設のご紹介



特定施設入居者生活介護
介護付有料老人ホーム

ハビリス・シムラ

「ハビリス・シムラ」は「医療法人社団曙会 シムラ病院」隣地に開設した介護付有料老人ホームです。
「ハビリス (Habilis)」とは「適した、ふさわしい」の意味を持つラテン語で、
「リハビリテーション (Rehabilitation)」の語源になっている言葉です。

市街に臨む その方らしい穏やかな毎日が広がる住まい



市街を臨む明るい環境の中で、四季折々の行事や楽しい活動、リハビリテーションにも
いきいきと取り組んでいます。
また、ご入居者様同士やご家族様とのつながりを大切に、互いに支え合いながら、
より良く生きる日々をお手伝いしてまいります。



施設長
澤 衣里子

私達は入居者様が「適した、ふさわしい」生活を送りより良く生きることができるよう支援することを理
念に、2020年3月開設以降、延べ157人の入居者様をお受け入れしてまいりました。
またシムラ病院隣接・看護師24時間常駐という環境を活かし、医療依存度の高い入居者様のお受け入
れやお看取りをさせていただいております。
超高齢社会の現代で地域の皆様・医療機関の皆様のご要望に応えられる施設として精進してまいりま
す。引き続きご高配の程、宜しくお願い申し上げます。

適切な医療・リハビリ・看護・介護 連携したサービスをご提供します。



介護付有料老人ホーム ハビリス・シムラ
Habilis Shimura

〒730-0841
広島市中区舟入町3番9号
☎082-503-5707



ホームページ

外来診療予定表

令和8年5月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	四宮 清水 大饗 (広大整形)	池尻 澤 松本	池尻 松本 吉岡 (第2・4)	藤林 (10:00～) 村田 奥原 河浪	奥原 副島 沖本	藤林 産業医大
	午後	池尻 河浪 林 (広大整形) 村田 (ICのみ)	村田 奥原 河浪 石橋 (広大整形)	四宮 清水 副島	村田 (14:30～) 澤 松本 生田 (広大整形)	澤 矢野 沖本	—
内科	午前	高野	宮原	高野	高野	宮原	高野
	午後	高野	宮原	高野	宮原	宮原	—
内科内視鏡	午前	長尾	菅田	長尾	菅田	長尾	菅田
	午後	長尾	菅田	長尾	菅田	宮原	—
循環器内科	午前	広川	塩田	—	重原	住元	—
外科消化器科	午前	小野	笹田 (広大原外) (9:00～12:00)	平井	小野	平井	小野
	午後	平井	小野	平井	小野	坪川 (広大原外) (14:00～17:00)	—

専門外来

脊椎外来	午前	清水	—	—	藤林 村田	—	藤林
	午後	—	村田	清水	村田	—	—
人工関節外来	午前	—	澤	吉岡 (第2・4)	奥原	奥原	—
	午後	—	奥原	—	澤	澤	—
スポーツ 運動外来	午前	—	池尻	池尻	—	—	—
	午後	池尻	—	—	—	—	—
肩外来	午前	—	池尻	池尻	—	—	—
	午後	池尻	—	—	—	—	—
手の外科外来	午前	四宮	—	—	—	—	—
	午後	林	—	四宮	—	—	—
骨粗鬆症外来	午前	—	—	—	—	沖本	—
	午後	—	—	—	—	沖本	—
乳腺外来	午前	—	笹田	—	—	—	—
内視鏡検査	午前	長尾	菅田	長尾	菅田	長尾	菅田
	午後	長尾	菅田	長尾	菅田	宮原	—
緩和ケア外来 入院面談	午前	—	—	池尻 (佑)	池尻 (佑)	—	—
	午後	池尻 (佑)	—	—	—	—	—
漢方外来	午後	—	—	小川 (隔週 14:30～) 宮川 (14:00～17:00)	—	—	—

診療時間

平日 午前 9:00～12:30
午後 14:00～18:00 (水曜14:30～)
土曜 午前 9:00～12:30
午後 休日体制

※新患受付: 平日17:45まで 土曜12:15まで

休診日

日曜・祝日 (急患は随時受け付けます)

標榜科目

外科・整形外科・内科・消化器外科・循環器内科
消化器内科・肛門外科・乳腺外科・放射線科
麻酔科・リハビリテーション科・精神科・脳神経外科

二次救急指定病院／労災保険指定病院／病院群輪番制病院／日本医療機能評価機構認定病院



医療法人社団曙会
シムラ病院

〒730-0841 広島県広島市中区舟入町3-13
TEL: (代表) **082-294-5151**
(患者支援センター) 082-261-6720 FAX: 082-294-5152

<https://www.shimura.hospital/>

